

## 久留米大学を受診した患者さんへ

「結膜弁移植、マイトマイシン C、羊膜移植を併用した再発翼状片手術の治療成績の検討」の研究に使用する資料について

---

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の資料を使用します。

- 1) 期間：2003年1月から2012年8月
  - 2) 受診科：眼科
  - 3) 対象疾患名：再発翼状片
  - 4) 使用する資料：カルテ
- 

あなたの資料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

**研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。**

**ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。**

- 1) 研究組織：所属：久留米大学病院眼科  
研究代表者：准教授 門田 遊  
研究分担者：助教 佛坂扶美  
教授 山川良治
- 2) 研究の意義と目的：再発翼状片は、初発翼状片に比較して手術後に再発しやすいと言われており、再発翼状片に対する手術療法については数多くの報告がありますが、いまだ統一した見解が得られていません。今回久留米大学眼科において、同一術式、術者による再発翼状片の成績を検討し、論文報告を行いたいと考えています。
- 3) 研究の方法：久留米大学眼科にて2003年1月から2012年8月に再発翼状片に対し、翼状片切除術+結膜弁移植術+マイトマイシンC塗布+羊膜移植術を行い、6か月以上経過観察できた症例について、年齢、観察期間、視力、乱視、再発率等について調べます。
- 4) 研究期間：平成26年8月倫理委員会承認後～平成31年7月31日（論文が雑誌に採用された時点で終了とします）
- 5) 上記の資料の使用を選定した理由：年齢、観察期間、視力、乱視、再発率等がカルテに

記載されているため。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：病院スタッフは、通常の診療において業務上知りえたことに関して秘密を守る義務があり、この研究において知った情報についても同様の守秘義務が課せられます。

また、この研究で取りまとめられた情報を医学雑誌などに発表しますが、患者さんを特定する情報（氏名・住所・電話番号など）は記載しません。

このように、個人情報 は 厳重に管理されています。

7) 研究成果の発表の方法：眼科の雑誌に論文にて報告します。

8) その他：特になし

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

事務局：久留米大学病院 眼科

住 所：久留米市旭町 67

電 話：0942-35-3311（病院代表）

ファックス：0942-37-0324

担当者：門田 遊（准教授）

研究番号 14107